

# 板東以前の捕虜収容所

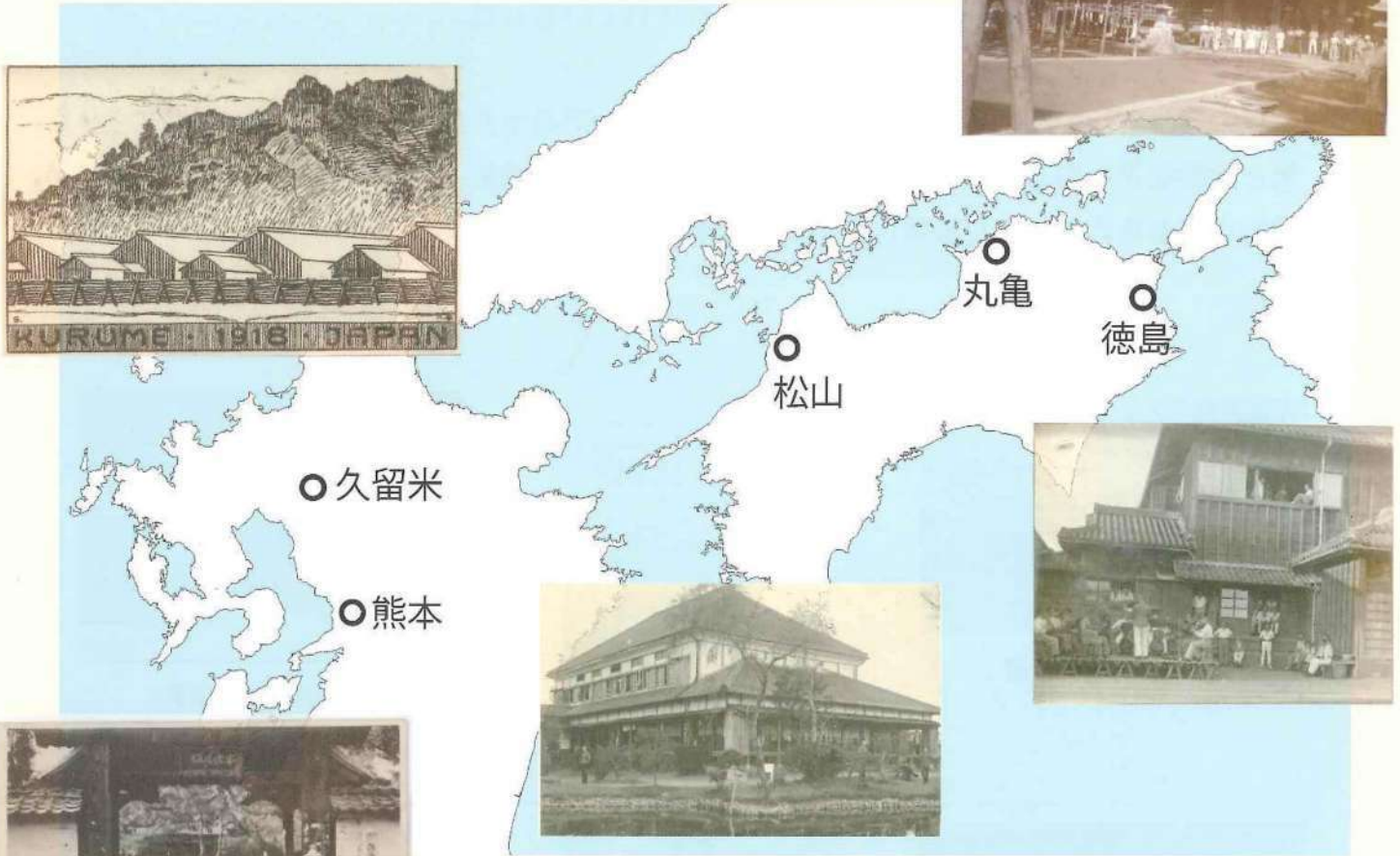
—ドイツ兵捕虜が板東に来る前にいた収容所を見る—

2019 **12/5** 木

鳴門市ドイツ館

▶ 2020 **1/31** 金

2階特別展示室



開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は4時30分まで）

休館日：12/28[土]～12/31[火] および1/27[月]

入場料：ドイツ館の観覧料が必要です

主催：ドイツ館史料研究会

企画展示

## 板東以前の捕虜収容所

—ドイツ兵捕虜が板東に来る前にいた収容所を見る—

2019年12/5[木] ~ 2020年1/31[金]

鳴門市ドイツ館2F 特別展示室

板東俘虜収容所は1914（大正3）年の日独戦での青島陥落後すぐに開設されたものではなく、設置は2年半近く経た1917（大正6）年4月のことでした。その時に板東に来たのは四国島内の三個所（松山・丸亀・徳島）に収容されていた人たちですが、その後1918（大正7）年8月には久留米からの90名が加わっています。ちなみに久留米から来た捕虜の中3分の2は日本へ来た当初、熊本に収容されていました。

今回の展示では、これらの収容所がどのようなものであったか、施設の様子や捕虜の生活と活動などを中心に紹介します。それと同時に、板東以前と以後にどのような相違と類似点があるのか、また板東に引継がれたものを探ってみます。



松山収容所の体操祭



久留米収容所の印刷物



徳島収容所での演劇



丸亀時代のエンゲル楽団



中国語の勉強（丸亀）